

6. E 科目（英語関連科目）の履修について

国際高等教育院では、学生の英語によるコミュニケーション力の向上と国際性の涵養を図るため、全学共通科目で開講されている科目の中から、英語力強化に資すると考えられる科目を選び、E 科目として指定しています。

外国語として「英語を学ぶ」だけでなく、「英語で学ぶ」ことはみなさんの英語力を一層向上させ、国際的な学問研究や社会の様々な分野で活躍することにつながるものと考えますので、みなさんの積極的な受講を期待します。

①E 科目のカテゴリーについて

E 科目には次の3つのカテゴリーがあります。履修の際の参考にしてください。

E1	英語テキストの講読を中心的な内容とする科目
E2	英語を使用言語として実施される科目
E3	英語スキルの向上を目的とする科目

E 科目に指定されている科目は、「Ⅱ. 全学共通科目授業科目」の「4. 全学共通科目授業一覧」(p.97～)の「E 科目指定」欄にカテゴリーが記載されています。KULASIS のシラバス検索ではカテゴリーを指定して検索することが可能です。

②履修上の注意

- ✦ E 科目は、E 科目として独立した科目群を構成するものではなく、人文・社会科学科目群や自然科学科目群等の各科目群の科目として開講されています。従って、単位を修得した場合には、原則開講されている科目群の単位として取り扱われます。平成 25～27 年度入学者が履修した場合は、開講されている科目群・分野に応じて科目群が読み替えられ、平成 24 年度以前入学者が履修した場合は「旧群」欄の科目として取り扱われます (p.210～参照)。
- ✦ 平成 28 年度以降入学者が外国語科目群で英語を選択する場合、修得すべき E 科目の単位数が設定されます。E 科目のカテゴリーや科目の指定、および卒業に必要な単位数は学部により異なりますので、「Ⅳ.各学部の修得すべき全学共通科目の単位数」(p.176～)で確認してください。
- ✦ E1・E3 科目のうち「全・英」の表示がある科目及び ILAS Seminar-E2 は予備登録を経て履修登録してください。
- ✦ 予備登録が必要ない E 科目では科目の特質に応じて履修 (人数) 制限を行う場合があります。人数制限の指示があれば、それに従い所要の手続きをとってください。
- ✦ E2 科目では、TOEFL ITP で一定以上のスコアの修得を要件とする履修制限を行う場合があります。

③予備登録が必要な E1・E3 科目（「全・英」の表示がある E1・E3 科目）

- ✦ 「外国文献研究 (全・英) -E1」や「クリティカルリーディング I (全・英) -E3」のように、科目名に「全・英」が含まれている科目を履修するには予備登録が必要です (以下、「全・英」の表示がある E1、E3 科目」といいます)。
- ✦ 全て 2 回生以上を対象に開講されます。
- ✦ 平成 27 年度以前入学者に対しては、卒業に必要な英語の単位が不足し、かつ学部専門科目の時間割の都合により、英語単位未修得者クラスを履修できない場合に限り、定員に余裕のある科目の履修を許可することがあります。
- ✦ 平成 27 年度以前入学者で既に卒業に必要な英語の単位を充足している学生、または大学院生が聴講を希望する場合は、授業に直接出席して担当教員の許可を得た上で聴講してください (履修登録はできません)。
- ✦ 「外国文献研究 (全・英) -E1」は、同一科目名で副題が異なる科目が複数開講されますが、同一開講期・異なる開講期どちらにおいても複数履修することが可能です。ただし、同一教員が担当する科目を履修し、単位を修得した場合は修得年度・修得期の早いもの 1 つのみ卒業に必要な単位として認定されます。
- ✦ 「全・英」の表示がある E3 科目は学術的言語技能の向上を目的とする科目です。コンセプトは、複数の技能の育成を目的とした「技能統合型」コースです。科目と技能領域、履修者定員は、以下の通りです。

科目	技能領域	1 クラスあたりの定員
セミナーパーティシペーション (Seminar Participation)	リスニング&スピーキング	40 名
クリティカルリスニング (Critical Listening)	リスニング&スピーキング リスニングの自律学習中心	210 名
リスニング&ノートテイキング (Listening and Note Taking)	リスニング&ライティング	30 名
オーラルプレゼンテーション (Oral Presentation)	リーディング&スピーキング	40 名
クリティカルリーディング (Critical Reading)	リーディング&ライティング リーディング中心	40 名
リサーチライティング (Research Writing)	リーディング&ライティング ライティング中心	20 名
テストテイキング (Test Taking)	総合的四技能	40 名

- ◇ 「全・英」の表示がある E3 科目は、担当教員にかかわらず同一科目の単位を複数修得した場合、通常の同一科目判定を行います。なお、科目名に I 又は II がつく「クリティカルリーディング」及び「テストテイキング」は、それぞれ I と II が別科目であり、いずれも卒業に必要な単位として認定されます。

申込手順	<p>予備登録申込手続きは、授業アンケートシステムを利用して実施します。外国語等予備登録の 2 回の申込期間のそれぞれに第 15 希望まで申し込むことができますが、申込期間 2 には、申込期間 1 の抽選の結果、定員に余裕のある科目のみ申し込みを受け付けます。</p> <p>「全・英」の表示がある E1・E3 科目について、2 回生前期に E1 または E3 科目から 1 科目履修することができます。2 回生前期に 1 科目、2 回生後期に 1 科目修得することを基本としますが、2 回生後期以降は、通算 2 科目までの履修が可能です。履修登録しなかった、または単位を修得できなかった「全・英」の表示がある E1・E3 科目がある場合、一開講期に 2 科目まで履修することが可能です。</p> <p>ただし、一開講期に抽選で当選する科目は 1 科目です。申込期間 1 に当選した者は申込期間 2 に申込することはできません。従って、履修登録しなかった、または単位を修得できなかった「全・英」の表示がある E1・E3 科目があり、一開講期に「全・英」の表示がある E1・E3 科目から 2 科目履修を希望する学生は、調整日に対応します。</p>	
申込方法	<p>授業アンケートシステムから、希望クラスを申し込んでください。期間中であれば申込を修正することも可能です。問題が生じた場合は、全学共通科目学生窓口で相談してください。</p>	
予備登録ページオープン	【前期】3月17日(金)	【後期】9月11日(月)
	予備登録ページには開講科目の時間割や予備登録申込の注意事項を掲載します。申込前に確認してください。	
1) 申込期間 1	【前期】3月27日(月) 8:00 ～ 3月30日(木) 18:00	【後期】9月15日(金) 8:00 ～ 9月21日(木) 18:00
抽選・結果発表	抽選終了後、結果を KULASIS の外国語等予備登録ページに掲載します。抽選に漏れた者は、次の申込期間 2 で申し込みしてください。	
2) 申込期間 2	【前期】4月3日(月) 8:00 ～ 4月6日(木) 18:00	【後期】9月25日(月) 8:00 ～ 9月28日(木) 18:00
抽選・結果発表	【前期】4月6日(木) 申込締め切り後	【後期】9月28日(木) 申込締め切り後
3) 調整日	【前期】4月7日(金)	【後期】9月29日(金)
	<p>次の 3 つの場合、調整日に履修科目の相談に応じます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申込期間 1・2 とも抽選に参加したが当選しなかった場合 ・履修登録しなかった、または単位を修得できなかった「全・英」の表示がある E1・E3 科目があり、一開講期に 2 科目めの履修を希望する場合 (1 科目めは予備登録で申し込みしてください) ・平成 27 年度以前学部入学者が英語 II 単位未修得者専用クラスの代替として履修する場合 <p>通算で 2 科目を超える履修を希望する者、平成 27 年度以前学部入学者で外国語科目群の英語の単位を充足している者についての調整は行いません。</p> <p>調整日の受付場所・時間は、KULASIS でお知らせします。</p>	
4) 履修登録	【前期】4月20日(木)～24日(月)	【後期】10月13日(金)～17日(火)
	履修登録 (p.40～参照) は上記の予備登録 (調整日の調整を含みます) の結果に従って登録してください。予備登録期間終了後、KULASIS の履修登録候補科目設定画面に予備登録された科目が表示されます。候補科目設定画面ではまだ履修登録は終わっていません。履修登録期間に必ず確定を行ってください。	

※日程は変更されることがありますので、KULASIS の外国語等予備登録ページで最新情報を確認してください。

④上記③以外の E1・E3 科目

- ◇ ③以外の E1・E3 科目は、予備登録の必要がなく、また登録科目数の上限もありませんが、履修 (人数) 制限を行う場合があります。人数制限の指示があれば、それに従い所要の手続きをとってください。
- ◇ 全て 2 回生以上を対象に開講されます。
- ◇ 「外国文献研究 (文・英) -E1」や「臨床コミュニケーション (医・英) -E3」のように、E1・E3 科目のうち特定の学部を対象に開講される E1・E3 科目は下表のとおりです。履修人数に余裕があれば他学部の学生も履修することが可能ですが、開講学部への事前申込等が必要な場合があります。詳細は別途掲示等によりお知らせします。

対象学部	科目名	科目群	開講期	単位	備考
文学部	外国文献研究(文・英) A-E1	人社群	前期	2	文学部英語選択者必修科目(A・B各2単位計4単位) 履修条件の詳細はシラバスを参照すること
	外国文献研究(文・英) B-E1	人社群	後期	2	
教育学部	外国文献研究(教育・英) I-E1	人社群	前期	2	教育学部英語選択者必修科目(I・II各2単位計4単位) 各クラス定員40名
	外国文献研究(教育・英) II-E1	人社群	後期	2	
法学部	外国文献講読(法・英) I-E1	人社群	前期	2	法学部必修科目(I・II各2単位計4単位) 各クラス定員50名(事前登録が必要。定員に余裕がある場合のみ他学部学生履修可)
	外国文献講読(法・英) II-E1	人社群	後期	2	
経済学部	外国文献研究(経・英) A-E1	人社群	前期	2	経済学部英語選択者必修科目(A・Bから計4単位) 複数履修可。同一科目で同一教員の履修を避けること。ただし、前後期各1科目のみ履修可。また、4単位を超えて履修することはできない。履修取消期間中の取消を認めない。 各クラス定員35~50名(余裕がある場合のみ他学部学生履修可)
	外国文献研究(経・英) B-E1	人社群	後期	2	
理学部	科学コミュニケーション(理・英)-E3	キャリア群	前期	2	理学部生は、キャリア形成科目群およびE科目として認定する。(理学部の卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数一覧を参照すること。)
	科学コミュニケーション(理・英)-E3	キャリア群	後期	2	
医学部	臨床コミュニケーション(医・英)-E3	キャリア群	前期	2	医学部医学科必修科目
	アカデミック・コミュニケーション(医・英)-E3	キャリア群	後期	2	医学部医学科選択必修科目
薬学部	科学コミュニケーションの基礎と実践(薬・英) A-E3	キャリア群	前期	2	薬学部必修科目(A・B各2単位計4単位) 理科系学部学生のみ受講可能 各クラス定員50名(余裕がある場合のみ理科系他学部学生履修可)
	科学コミュニケーションの基礎と実践(薬・英) B-E3	キャリア群	後期	2	
工学部	Scientific English II-E3 (Presentation & Discussion)	キャリア群	通年	4	工学部地球工学科国際コース選択必修科目
	Advanced Scientific English-E3 (Debate)	キャリア群	通年	4	

※これらの科目は平成28年度まで、総合人間学部以外が提供する英語として開講されていた科目です。平成27年度以前入学者が履修し、単位を修得した場合の取り扱いは、「IV. 各学部の修得すべき全学共通科目の単位数」(p.210~)を参照してください。